

南郷屋生きがいサロンで人形劇披露



人形劇 ピノキオ

2月14日（金）南郷屋生きがいサロンで、「ピノキオ」による人形劇が行われました。オープニングから、間近で観る人形劇に皆さん引き込まれている様子でした。南の島のハメハメハ大王の曲に合わせて手人形の踊りが始まると、自然と手拍子が起こり、お決まりの「はじまるよみてね！」のパネルが出ると、盛大な拍手が起こっていました。



この日披露した演目は、人間と仲良くなりたい赤鬼の話「泣いた赤鬼」。手作りの温かみのある人形と人形に感情を込めて語るその演技は、人形劇ならではの世界観があり、次々と場面が変わる展開や様々な仕掛けに、皆さん見入っていました。



カエルの合唱を歌った後に、「お父さん」と呼ぶとお父さんカエルが登場し、歓声が上がりました。

お父さんカエルが、サンダルやパンツ、鯛、タコなど様々な物を吊り上げる場面では、笑いが起こり、次に、昔懐かしい曲を皆さんにマイクを向けながら一緒に歌ったり、ズンドコ節やアンパンマンの音楽に合わせてリズム体操を行ったりしました。約1時間盛りだくさんの内容で、皆さんとても楽しんだ様子でした。また、活動を終えた「ピノキオ」の皆さんの笑顔が素敵で印象的でした。

